

ULTIMEA

Dolby Atmos

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Bluetooth®



Skywave X70

取扱説明書

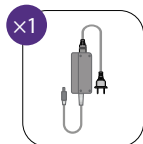


最新マニュアル

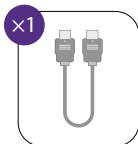
1. 安全に関する重要な注意事項

- 本書をよくお読みになり、大切に保管してください。すべての警告に従い、指示に従って操作してください。
- 水の近く、湿気の多い場所、または雨の中では使用しないでください。液体をこぼしたり、花瓶など液体の入った物を上に置かないでください。
- 乾いた布のみで清掃してください。液体クリーナーは使用しないでください。
- 通気口を塞いだり、密閉空間に設置しないでください。十分な換気を確保し、メーカーの指示に従って設置してください。
- 暖房器具、ストーブ、アンプなどの熱源の近くに設置しないでください。新聞紙やカーテンなどで通気口を覆わないでください。
- メーカー指定の付属品のみを使用してください。キャスター付き機器を移動する際は転倒に注意してください。
- 電源コードが踏まれたり、挟まれたり、曲げられったりしないように保護してください。
- プラグの極性や接地機能を改造しないでください。合わない場合は電気技師に相談してください。
- 雷雨時または長期間使用しない場合は電源プラグを抜いてください。
- ろうそくなどの裸火を置かないでください。
- 分解しないでください。内部の高電圧により感電や死亡の恐れがあります。修理は有資格者のみが行ってください。
設置高さは2メートルを超えないでください。

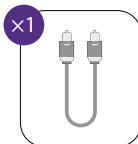
2. 付属品一覧



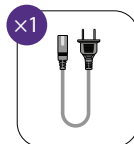
サウンドバー電源アダプター (3 m / 118")



HDMIケーブル (1.5 m / 59")



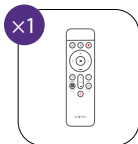
デジタル光ケーブル (1.5 m / 59")



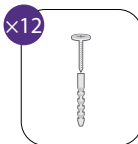
サブwoofer電源コード (2 m / 78")



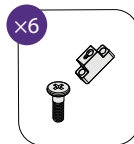
サラウンド電源アダプター (3 m / 118")



リモコン

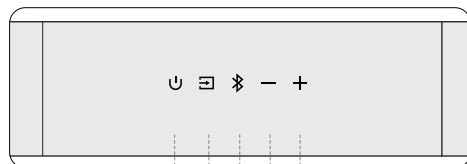


壁掛け用ネジ&アンカー



取付ブラケット&ネジ

3. サウンドバーの操作部



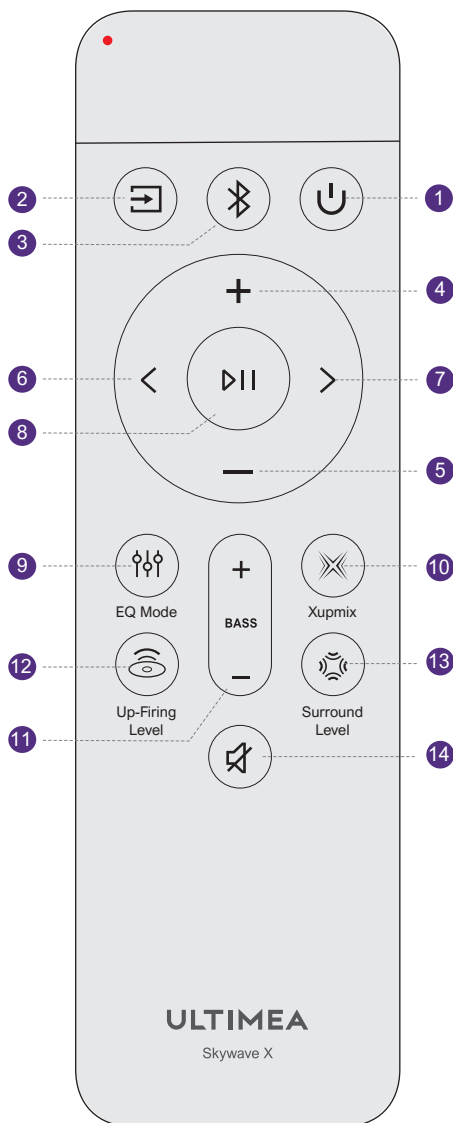
1 2 3 4 5

コントロールパネル

- ① “U”: 電源ボタン
押すと電源オンまたはスタンバイになります。
- ② “☒”: ソース
押すと入力ソースを切り替えます: eARC - HDMI IN - OPT (OPTICAL) - Bluetooth® - USB。
- ③ “B”: Bluetooth®
押すとBluetooth®モードに切り替わります。自動的にペアリングモードになります。3秒間長押しすると現在のデバイスを切断し、スマートフォン、PC、またはTVから新しいデバイスを手動でペアリングできます。
- ④ “—”: 音量ダウン
- ⑤ “+”: 音量アップ

4. リモコン

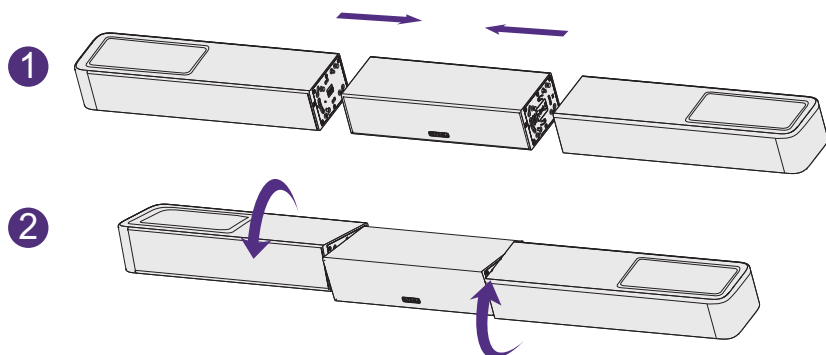
- 1 “”: 電源ボタン
押すと電源オン / スタンバイ
- 2 “”: **SOURCE**
押すと入力ソースを切り替え
- 3 “”: **Bluetooth®**
押すとBluetooth®モードに切り替え
- 4 “+”: 音量アップ
- 5 “-”: 音量ダウン
- 6 “<”: 前へ
Bluetooth®およびUSBモードのみ 前の曲へ
- 7 “>”: 次へ
Bluetooth®およびUSBモードのみ 次の曲へ
- 8 “”: 再生 / 一時停止
Bluetooth®およびUSBモードのみ
- 9 “”: **EQモード**
押すとEQモードを切り替え
スタンダード、シネマ、ミュージック、ボイス、ゲーム、ナイト
- 10 “”: **Xupmix**
初期設定は「オン」で、6つのサウンドエフェクトモードを一括制御できます
Xupmix オン サラウンドチャンネルはマルチチャンネル信号として処理され、より没入感のある音響体験を提供します
Xupmix オフ サラウンドチャンネルは左右チャンネル信号を基に最適化され、より広い音場効果を実現します
- 11 **BASS**
押すと低音レベルを調整
- 12 “”: **Up-Firing Level**
押すとハイトチャンネルの音量を調整
- 13 “”: **Surround Level**
押すとサラウンド音量を調整
- 14 “”: **MUTE**
押すと消音
5秒間長押しで工場出荷時設定に復元



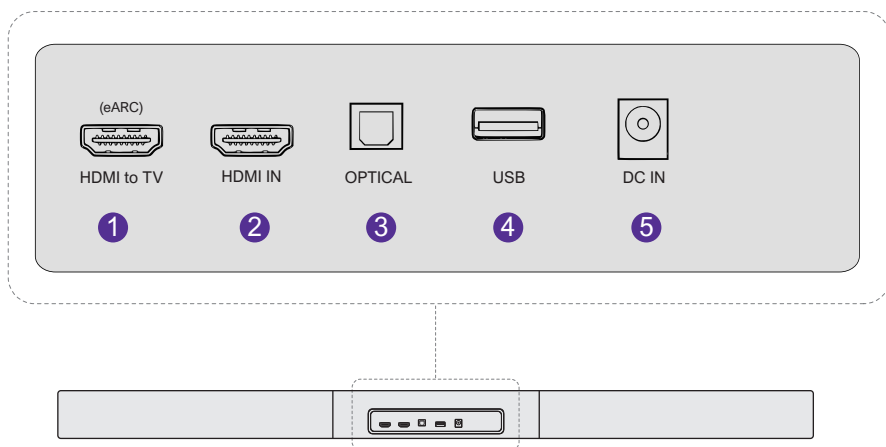
5. サウンドバーの設置

3つのセクションの接合部を合わせ、しっかり固定されるまで回して接続してください。

注意：組み立て中はサウンドバーの電源がオフになっていることを確認してください。

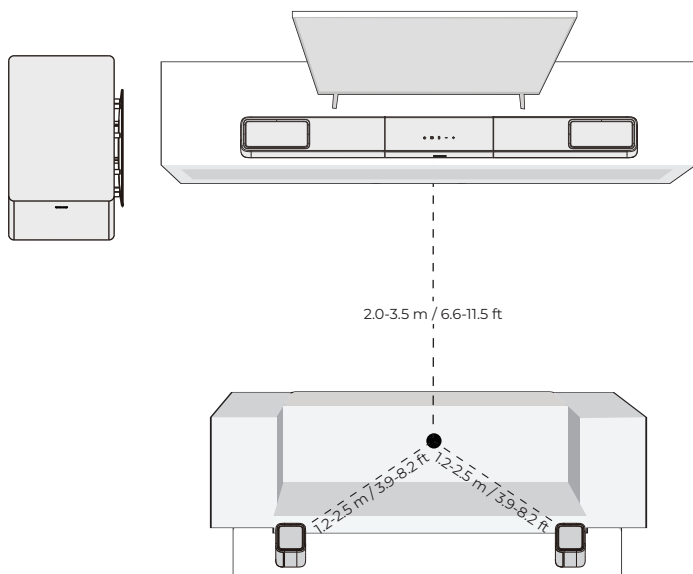


6. リアパネル

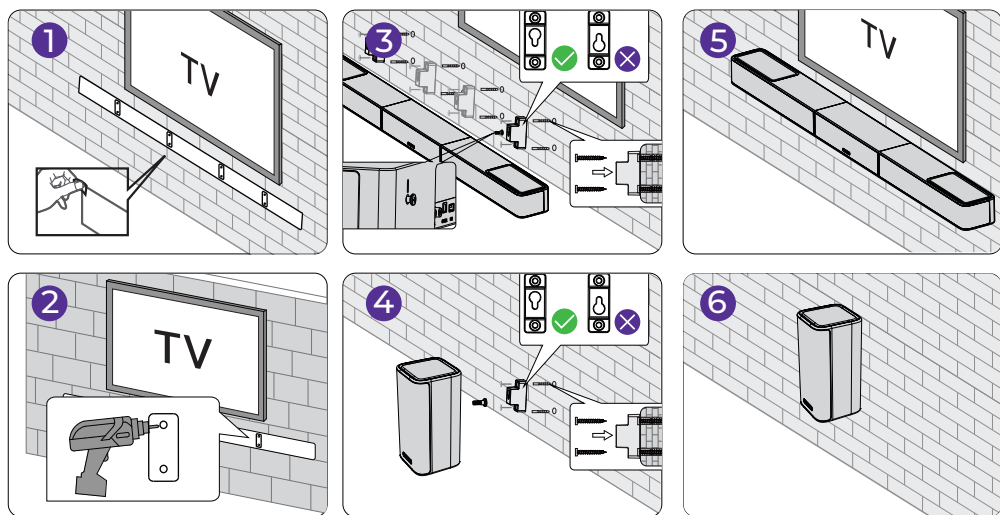


注意：USBはMP3またはFLACファイルに対応しています。

7. システムの設置位置



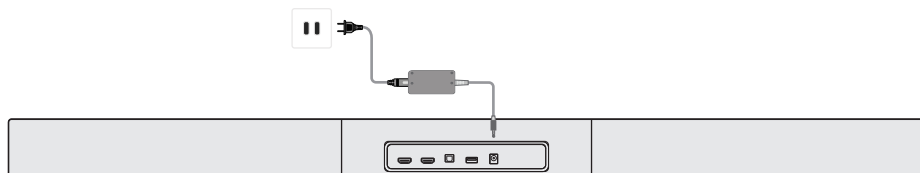
8. 壁掛け設置



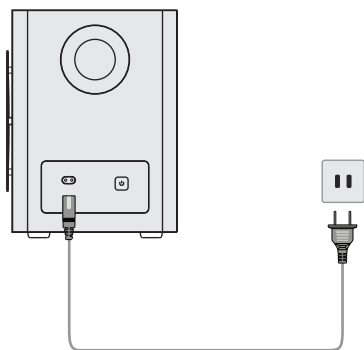
注意：サラウンドスピーカー用の壁掛けブラケットはサウンドバー用と同一です。縦方向の穴間隔もサウンドバーと同じです。詳細はウォールマウントガイドをご参照ください。

9. 接続と電源オン

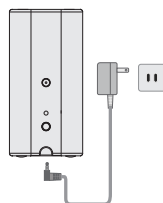
- 1 サウンドバーの電源アダプターをコンセントに接続します。



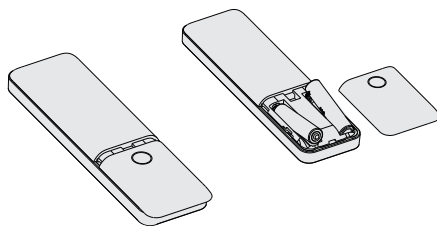
- 2 サブウーファーの電源ケーブルをコンセントに接続します。



- 3 各サラウンドスピーカーの電源アダプターを壁のコンセントに差し込みます。



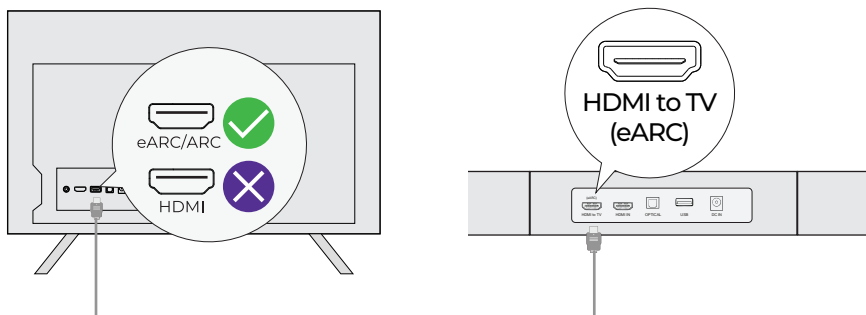
- 4 注：使い捨てのアルカリ電池の使用を推奨します。充電式電池は推奨されません。



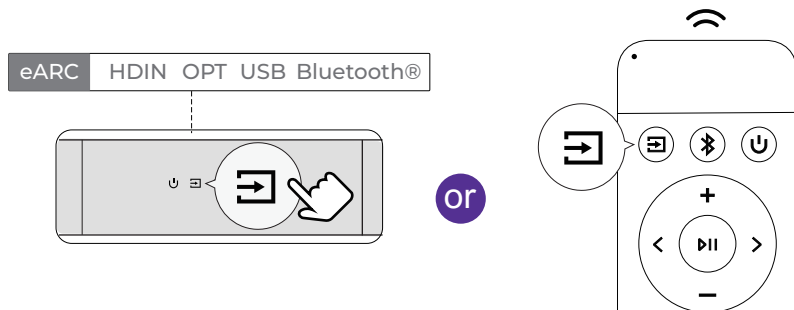
電池は含まれていません。

10. HDMI eARCでテレビに接続

- 1 HDMIケーブルの一端をテレビ背面のeARC/ARC端子に接続します。
- 2 もう一端をサウンドバーのeARC端子に接続します。



- 3 リモコンの「Source」ボタンを押して、「eARC」入力を選択します。



注意：テレビのHDMI端子がeARCに対応していることを確認してください。
対応していない場合、**Dolby Atmos**音声は伝送できません。

Dolby Atmos: Dolby Atmos形式のコンテンツを視聴する場合は、テレビの音声出力をPass Throughに設定してください。

テレビ設定 > ホーム > 設定 > サウンド > デジタル音声出力 > Pass Through

DTS: DTS形式の映画を視聴する場合は、テレビの音声出力をPCMに設定してください：テレビ設定 > ホーム > 設定 > サウンド > デジタル音声出力 > PCM

HDMI IN、HDMI ARC、HDMI eARCの違いは何ですか？

HDMI IN は外部機器を接続するための標準的なHDMI入力です。

ARCやeARCには対応していません。

HDMI ARC は、テレビとオーディオシステム間で双方向の音声伝送を可能にします。

HDMI eARCはARCの強化版で、Dolby Atmosなどの高音質フォーマットに対応しています。

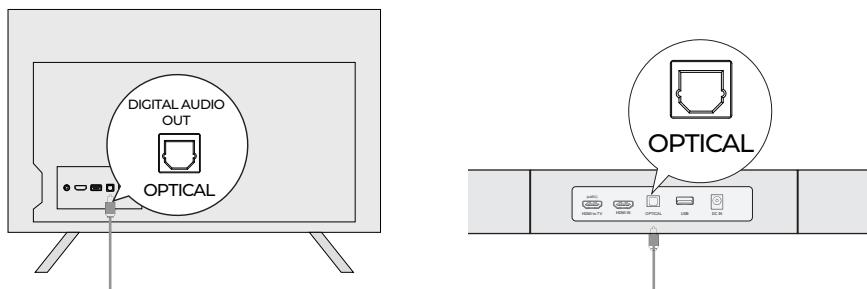
注意：テレビの「**CEC**」機能を有効にしてください。**eARC**または**ARC**接続時、テレビのリモコンでサウンドバーとテレビを同時に操作できます。

(1) 電源オン/スタンバイ

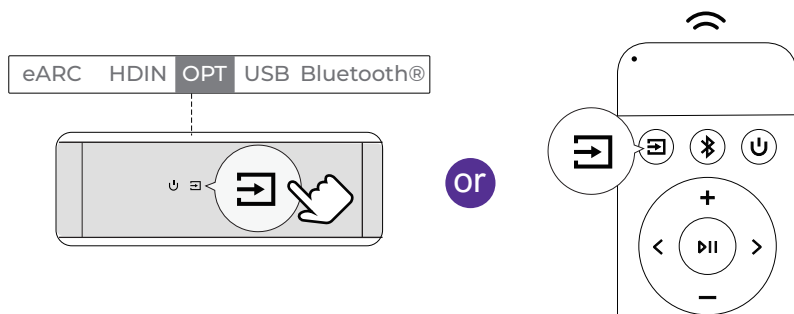
(2) 音量調整

11. 光デジタルケーブルでテレビに接続

- 1 テレビの端子が OPTICAL OUT であることを確認してください。光デジタルケーブルの両端を、テレビとサウンドバーの OPTICAL 端子に接続してください。



- 2 光デジタルプラグが図のとおり正しく挿入されていることを確認してください。上下逆に挿入すると、光端子が破損する恐れがあります。
- 3 テレビ設定 > ホーム > 設定 > サウンド > デジタル音声出力 > PCM

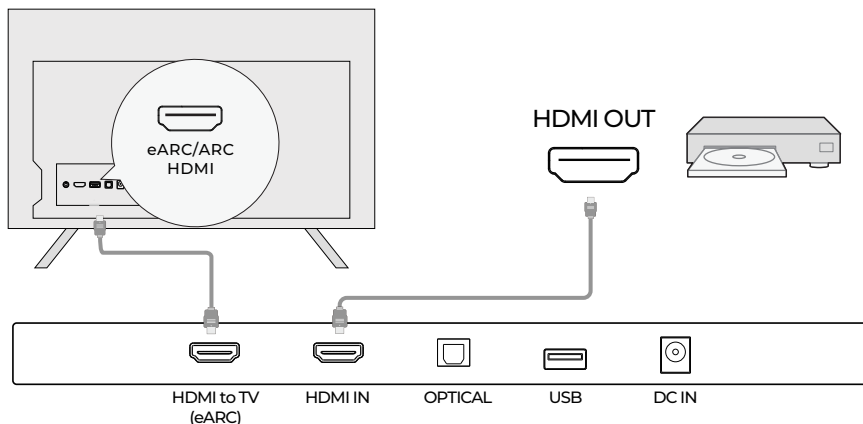


注意：音声はテレビ本体のスピーカーから再生されている場合は、テレビをミュートにするか、音量を最小にしてください。

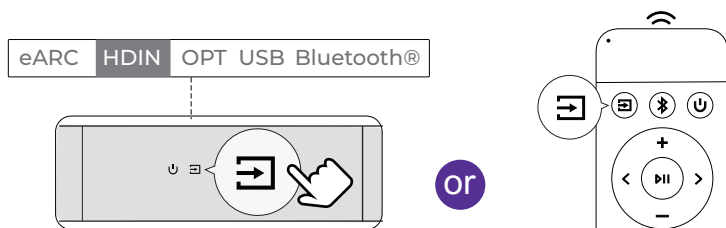
光端子は Dolby Atmos に対応していません。Dolby Digital Plus (7.1) のみ対応しています。Dolby Atmos を最適にお楽しみいただくには、HDMI IN または HDMI eARC をご使用ください。

12. 外部機器の接続

- 1 HDMIケーブルをテレビのHDMI eARC/ARC端子に接続します。
- 2 外部機器のHDMI OUTをサウンドバーのHDMI INに接続します。



- 3 サウンドバーまたはリモコンの「Source」ボタンを押して「HDIN」入力を選択します。



外部機器の接続：TVボックス、DVDプレーヤー、Amazon Fire TV Cube、ゲーム機など
例：DVDの接続

手順1: HDMIケーブルをDVDプレーヤー（または他の外部機器）のHDMI OUT端子からサウンドバーのHDMI IN端子に接続します。

手順2: 別のHDMIケーブルをサウンドバーのHDMI OUT（eARC）端子からテレビのHDMI eARC/ARC端子に接続します。

注意：Dolby Atmos音声をサウンドバーへ伝送するには、テレビのHDMI端子がeARCに対応している必要があります。

手順3: サウンドバー本体またはリモコンの「Source」ボタンを押して、HDMI INチャンネルに切り替えます。

手順4: DVDプレーヤーの音声出力形式を「Bitstream」または「Auto」に設定します。

サウンドバーはDTSフォーマットに対応していません。音声出力形式をDolby Atmos、Dolby Digital（またはDolby Digital Plus）、またはPCM/ステレオに変更してください。変更後は、再生を再起動して設定を反映させてください。

外部機器の別の接続方法

例：Chromecast / Fire TV Stick

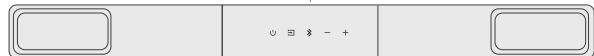
ChromecastまたはFire TV StickをテレビのHDMI IN端子のいずれかに接続します。

HDMIケーブルでテレビのHDMI eARC/ARC端子とサウンドバーのHDMI OUT（eARC）端子を接続します。

テレビの音声出力を「外部スピーカー」または「HDMI（ARC/eARC）」に設定します。

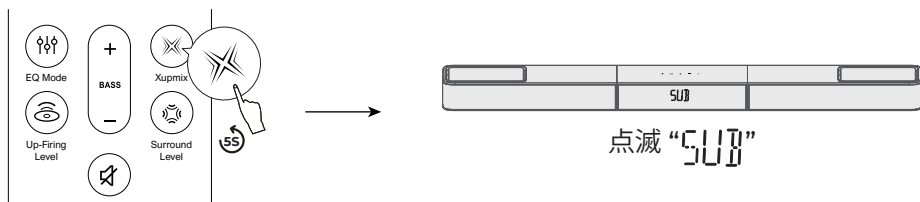
サウンドバーの入力ソースとして「TV/eARC」を選択します。

テレビ側でChromecastまたはFire TV Stickが接続されているHDMI入力を選択します。

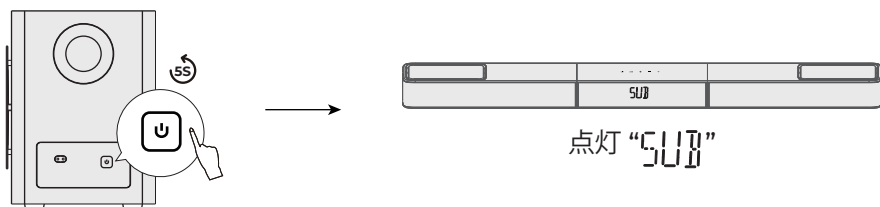


- 3** 注意:すでにBluetooth®モードで接続されている場合は、"" ボタンを3秒間長押しして現在の機器との接続を解除し、その後スマートフォン/PC/TV から新しい機器を手動で接続してください。

通常、サウンドバーとサブウーファーはあらかじめペアリングされています。接続が切れた場合は、以下の手順で再度ペアリングしてください：



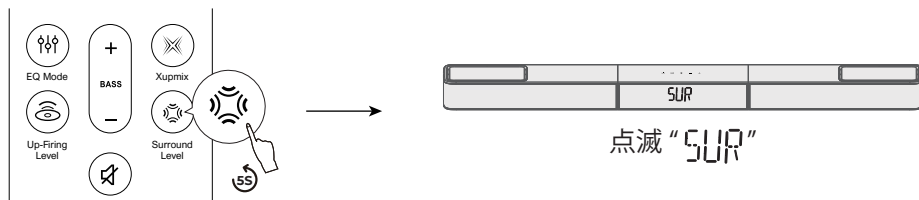
- ① リモコンの「Xupmix」ボタンを5秒間長押しします。本体ディスプレイに「SUB」が点滅し、ペアリングモードであることを示します



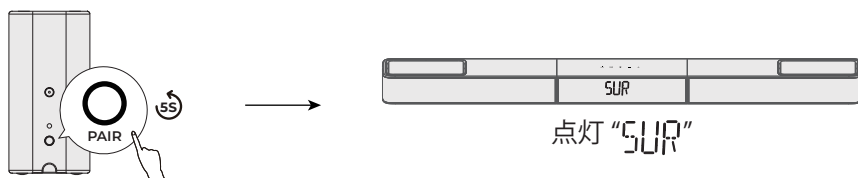
- 2 サブウーファー背面のペアリングボタンを5秒間長押しして、ペアリングモードに入ります
- 3 ペアリングが成功すると、本体ディスプレイの点滅が停止し、サブウーファーのインジケータランプが点灯状態になります

15. サラウンドスピーカーの再ペアリング

通常、サウンドバーと**Surround**スピーカーはあらかじめペアリングされています。接続が切れた場合は、以下の手順で再度ペアリングしてください：



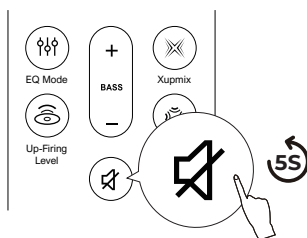
- 1 リモコンの「Surround Level」ボタンを5秒間長押しします。本体ディスプレイに「SUR」が点滅し、ペアリングモードであることを示します



- 2 Surroundスピーカー背面のペアリングボタンを5秒間長押しして、ペアリングモードに入ります
- 3 ペアリングが成功すると、本体ディスプレイの点滅が停止し、Surroundスピーカーのインジケータランプが点灯状態になります

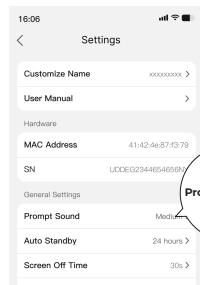
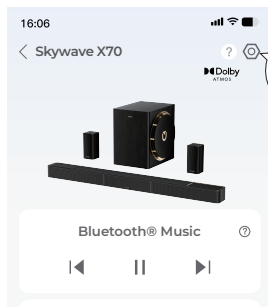
16. 工場出荷時設定にリセット

工場出荷時の設定に戻すには、MUTEボタンを5秒間長押ししてください



17. プロンプト音量の調整

サウンドバーの通知音が大きすぎる場合は、ULTIMEAアプリで音量を調整できます。



- 1 QRコードをスキャンしてULTIMEAアプリをダウンロードし、アプリにサウンドバーを追加します。
- 2 サウンドバーのデバイス詳細ページを開き、右上の設定アイコンをタップして「Prompt Sound Volume」を選択します。必要に応じて音量を調整してください。

Model Number	U442A
Power Supply	DC 18V~5A(Soundbar) / DC 18V~-1.5A(Surround) / AC 110~220V(Subwoofer)
Soundbar Drivers	Soundbar: 2.25" x6 + 2.25" x 2 , Surround: 2.25" x 2 + 2.25" x2, Subwoofer: 10" x 1
Auto Standby	The soundbar will turn to standby mode if there is no audio signal for 15 minutes. You can set the standby time in the App
Standby Power	<0.5W
Operating Temperature	-10 ℃ -45 ℃ / 14°F -113°F
Bluetooth Version	5.4

Soundbar	1102 x 100 x 70 mm / 43.39" × 3.94" × 2.76"
Subwoofer	260 x 355 x 355 mm / 10.2" × 14.0" × 14.0"
Surround Speaker	85 x85 x 170 mm / 3.35"× 3.35" × 6.69"
Packaging	523 × 523 × 585 mm / 20.6" × 20.6" × 23.0"
Net Weight	19.7 kg / 43.4 lbs
Gross Weight	27.65 kg / 61.0 lbs

USB Output	5V 500mA
Operating Altitude	2000 meters above sea level
Wall Mount Screw	4 x 35 mm / 0.16" x 1.4"
Bracket Screws Diameter	M5*10mm / 0.2" x 0.4"
Remote Control Battery Type	2 x AAA (NOT INCLUDED)
Notice: Risk of fire or explosion if the battery is replaced by an incorrect type.	

PROPER DISPOSAL INSTRUCTIONS

 This mark shown on the product or its packaging, indicates that this product should not be disposed of with other household waste at the end of its working life. To prevent possible harm to the environment or human health from uncontrolled waste disposal, please separate this from other types of wastes and recycle it responsibly to promote the sustainable reuse of material resources.

WASTE ELECTRICAL & ELECTRONIC EQUIPMENT

Household user should contact either the retailer where they purchased this product, or their local government office, for details of where and how they can take this item for environmentally safe recycling. Business users should contact their suppliers and check the terms and conditions of the purchase contract. This product should not be mixed with other commercial wastes for disposal.

WIRELESS FREQUENCY RANGE AND WIRELESS OUTPUT POWER:

Frequency: 2.402GHz-2.48GHz,5.8GHz

Wireless Capability Description:

The subwoofer and two surround speakers connect wirelessly but function solely as signal receivers without relaying or forwarding data. The remote control uses infrared (IR) technology for device operation and does not support other wireless transmission or reception. An IR transmitter on the rear of the Soundbar is used exclusively to relay remote control signals and does not support any other wireless communication.

FCC REGULATORY COMPLIANCE

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
 - (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
 - Increase the separation between the equipment and the receiver.
 - Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 - Consult the dealer or an experienced radio / TV technician for help.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20cm between the radiator & your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

CE WARNINGS

- 1) Do not install this equipment in a confined or building-in space such as a book case or similar unit, and remain a well ventilation conditions. The ventilation should not be impeded by covering the ventilation openings with items such as newspaper, table-cloths, curtains etc.
- 2) WARNING: To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture. The apparatus shall not be exposed to dripping or splashing and that objects filled with liquids, such as vases, shall not be placed on apparatus.
- 3) WARNING: The adapter plug is used as disconnect device, the disconnect device shall remain readily operable.
- 4) Frequency: 2.402GHz-2.48GHz,5.8GHz
- 5) The Max. transmit power: 13.03 dBm

⚠ WARNING: This product can expose you to chemicals including lead, which is known to the State of California to cause cancer and birth defects or other reproductive harm. For more information, go to www.P65Warnings.ca.gov.

ISED WARNINGS

This device contains licence-exempt transmitter (s) / receiver (s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS (s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

The device meets the exemption from the routine evaluation limits in section 2.5 of RSS 102 and compliance with RSS-102 RF exposure, users can obtain Canadian information on RF exposure and compliance.

Le dispositif rencontre l'exemption des limites courantes d'évaluation dans la section 2.5 de RSS 102 et la conformité à l'exposition de RSS-102 rf, utilisateurs peut obtenir l'information canadienne sur l'exposition et la conformité de rf.

This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20 centimeters between the radiator and your body.

Cet émetteur ne doit pas être Co-placé ou ne fonctionnant en même temps qu'aucune autre antenne ou émetteur. Cet équipement devrait être installé et actionné avec une distance minimum de 20 centimètres entre le radiateur et votre corps.

Trade Marks:



Dolby, Dolby Atmos, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright © 2012-2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.



The Bluetooth word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Ultimea Technology (Shenzhen) Limited, is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

ULTIMEA

Product Name: Soundbar
Model No.: U442A



Ultimea GmbH
Buchenring 57, 22359 Hamburg, Germany



EVATOST CONSULTING LTD
Office 101 32 Threadneedle Street, London, United Kingdom, EC2R 8AY

@Ultimea Inc. All rights reserved, registered in the United States and other countries. 801 S. Dupont Ave., Ste G, Ontario, CA, 91761, USA

Made in China
Manufacturer: Ultimea Technology (Shenzhen) Limited
Address: 20th Floor, Building 4, Tianan Cloud Park, Bantian St., Longgang District, Shenzhen, China 518000

Manufacturer Contact Information:

+1 888-598-8875 (US) +49 89-628-25828 (EU) support@ultimea.com support.ultimea.com
Mon-Fri 9am-5pm (PST) Mon-Fri 9am-5pm (CET)

If you need our support, kindly reach out to our service team. We are always glad to help.





FR

Cet appareil, ses accessoires, et cordons se recyclent

REPRISE À LA LIVRAISON

À DÉPOSER EN MAGASIN

À DÉPOSER EN DÉCHÈTERIE



Points de collecte sur www.uefairedemesdechets.fr

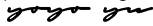
Warranty Extension Plan

EU DECLARATION OF CONFORMITY

We (Manufacturer is responsible for this declaration)
20th Floor, Building 4, Tianan Cloud Park, Bantian St.,
Declare under our sole responsibility that the product
Trade Mark: ULTIMEA
Product Name: Soundbar
Model No.: U442A

Ultimea Technology (Shenzhen) Limited
Longgang District Shenzhen, China 518000

The product to which this declaration relates is in conformity with the essential requirements set out in the Council Directive on the Approximation of the laws of the Member States relating to the Radio Equipment Directive (2014/53/EU), the Restriction of Hazardous Substances Directive (2011/65/EU), the Electromagnetic Compatibility Directive (2014/30/EU), and the Low Voltage Directive (2014/35/EU). The product is responsible for affixing the CE marking, and the following standards were applied:

EN 55032:2015/A1:2020	IEC 62321-3-1:2013	Full Name: Yoyo.Yu
EN 55035:2017/A1:2020	IEC 62321-4:2013+A1:2017	Position: Approbation Manager
EN IEC 61000-3-2:2019/A2:2024	IEC 62321-5:2013	Signature: 
EN 61000-3-3:2013/A2:2021	IEC 62321-6:2015	Place/Date: Shenzhen, China / July 20, 2025
ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11)	IEC 62321-7-1:2015	
ETSI EN 301 489-17 V3.2.4 (2020-09)	IEC 62321-7-2:2017	
ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07)	IEC 62321-8:2017	
EN IEC 62311:2020	ETSI EN 301 489-3 V2.3.2(2023-01)	
EN IEC 62368-1:2020+A11:2020	ETSI EN 300 440 V2.2.1(2018-07)	